

# 日本近・現代史と領土問題

## 尖閣・竹島問題の背景

最近、韓国と竹島問題、中国とは尖閣諸島の領有をめぐって、問題が出てきています。武力によらない話し合いによる解決が、憲法九条にとっても国連憲章にとっても大前提です。歴史的な背景を良くつかみ、日本の侵略の歴史を学ぶ中で、どのように問題をとらえるべきかを山田先生から学びます。

\*今回は二回連続講座とし、次回は1月16日を予定します。

### 山田 朗(やまだ・あきら)さん[明治大学教授]



愛知教育大学卒後、東京都立大学大学院博士課程を経て、明治大学文学部教授。日本近現代史、軍事史、天皇制論、歴史教育論が専門。研究テーマは15年戦争期から戦後占領期中心とする国家と軍事の関係、天皇制の役割、植民地支配。著書は『軍備拡張の近代史-日本軍の誇張と崩壊』（吉川弘文館）など多数。

**11/14(水)18:45** (開場18:30)

**明治大学研究棟 第1会議室**

**資料代など:500円(学生無料)**

- JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩3分
- 東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩5分

主催: 千代田九条の会、明治大学九条の会

\*予約制ではありません。当日直接会場にお越し下さい。

メ-ル→[mail@chiyoda9.com](mailto:mail@chiyoda9.com) HP <http://www.chiyoda9.com/>

